



いきいき

小富士っ子



R5学校便り No. 3

令和5.4.27

四国中央市立
小富士小学校

4月29日 ゴールデンウィークを目前にし、わくわくが隠せない児童も多いようです。ゴールデンウィーク初日の4月29日は、かつて「天皇誕生日」でしたが、昭和天皇の崩御によって「みどりの日」に改称され、そのまま祝日になりました。昭和天皇が植物に造詣が深く、自然をこよなく愛したことから名付けられました。4月29日は「天皇誕生日」から「みどりの日」となり、昭和天皇の誕生日にちなんで今は、「昭和の日」となっています。そして、「みどりの日」は「国民の休日」だった5月4日に移動しました。祝日にはそれぞれ意味がありますが、今回は「昭和の日」と「みどりの日」について考えてみようと思います。「昭和の日」は、「激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす」日として制定されました。日本人は敗戦後にその時の喪失感や荒廃の中から立ち上がり見事復興を遂げ、豊かな国になりました。ですから、私たちは今、このコロナ禍の苦難も乗り越えようとしているのだと思います。今後訪れるかもしれない困難にどう立ち向かえばよいのかを考える「昭和の日」にしたいものです。「みどりの日」は、「自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ」ことを趣旨とした日です。コロナ禍に翻弄される中、ウイルスも人間も自然界の一部なのだろうか、自然と共存していくことを試されているのかなどと「みどりの日」を前に思いながら、自然の偉大さを感じ、自然に親しみ感謝しなければならないと考えていました。自然に抗うことなく、ウィズコロナで教育活動に取り組みたいです。今後も学校では感染症対策に引き続き努めたいと思います。保護者、地域の皆様も、ご協力をよろしくお願いいたします。ゴールデンウィークを有意義にお過ごしください。

参観日・PTA総会

4月23日(日)の参観日は授業をご参観くださり、ありがとうございました。お子様が活動する様子を見ることができたでしょうか。感想など聞かせてください。続いてのPTA総会や学級懇談、修学旅行と自然の家の説明会等での話合い、ご苦勞様でした。今後もよろしくお願いいたします。

